平成３０年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜大学動物実験委員会

令和２年３月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 ■　基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □　機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　機関内規程が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する機関内規定が適切に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

２．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □　動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験委員会は置かれていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験委員会名簿 ・岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則（平成３０年５月１日廃止） ・岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則（平成３０年５月１日廃止） ・医学系研究科動物実験審査委員会名簿 ・応用生物科学部動物実験審査委員会名簿
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会及び各動物実験審査委員会が設置されており、適正に運営されている。
４）改善の方針、達成予定時期 動物実験計画等の審査体制の見直しにより、医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会を廃止し、これまで両審査委員会で審査されていた動物実験計画を動物実験委員会で審査することとした。（平成３０年４月２５日開催の動物実験委員会にて承認）

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □　動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則（平成３０年５月１日廃止） ・岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則（平成３０年５月１日廃止）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 動物実験計画等の審査体制の見直しにより、岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則及び岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則を廃止し、国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程を一部修正し、以後、岐阜大学における動物実験については国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程に基づき、実施することとした。

４．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 □　該当する動物実験は、行われていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・国立大学法人岐阜大学組換えＤＮＡ実験安全管理規程 ・国立大学法人岐阜大学病原体等安全管理規程 ・国立大学法人岐阜大学放射線障害防止管理規程 ・国立大学法人岐阜大学エックス線障害防止管理細則 ・国立大学法人岐阜大学薬品等管理規程 ・科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

５．実験動物の飼養保管の体制

１）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・岐阜大学飼養保管施設一覧（合計：４４施設） 工学部（１施設：生命工学科培養室） 応用生物科学部（３８施設：応用生物科学部附属動物環境制御飼育室、等） 研究推進・社会連携機構（５施設：科学研究基盤センター動物実験施設小動物飼育区画、等）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会委員が、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当せず。

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に機能している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験委員会議事要録（会議開催：１２回 書面審議：０回） ・医学系研究科動物実験審査委員会資料（会議開催：１回 書面審議０回） ・応用生物科学部動物実験審査委員会資料（会議開催：１回 書面審議：１回）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程に基づき、適正な委員会を実施している。
４）改善の方針、達成予定時期 動物実験計画等の審査体制の見直しにより、医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会を廃止し、これまで両審査委員会で審査されていた動物実験計画を動物実験委員会で審査することとした。（平成３０年４月２５日開催の動物実験委員会にて承認）

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会、医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

３．安全管理を要する動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。 □　該当する動物実験は、行われていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会、医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理上注意を要する動物実験について、他委員会とも連携をとり適正に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

４．実験動物の飼養保管状況

１）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・動物実験委員会、医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料 ・平成３０年度実験動物の飼育状況報告書 ・科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程及び科学研究基盤センター動物実験分野利用の手引き等に基づき適正な飼育・保管を行っている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

５．施設等の維持管理の状況

１）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認に係る資料 ・実験室設置承認に係る資料
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設の申請に関して、動物実験委員会委員が、直接申請された施設を確認し、委員会が定めたチェックシートに沿い、調査を行っている。その調査結果をもとに、委員会が施設の設置承認の審査を行っており、審査体制は適正である。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

６．教育訓練の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・岐阜大学動物実験教育訓練実施状況の資料 平成３０年度実施回数：１０回、受講者数（のべ）：２６５名 ＜実施日＞ 平成３０年　４月６日、４月２７日、６月２５日、７月１１日、８月３０日、１０月３０日、１０月３１日（英語講義）、１２月２０日、平成３１年　２月２７日、３月２０日 ・岐阜大学動物実験教育訓練資料 ＜教育訓練の内容＞ 関連法令、指針等について 動物実験等の方法について 実験動物の飼養保管方法について 安全確保、安全管理に関する事項について その他、適切な動物実験等の実施に関する事項について
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

７．自己点検・評価、情報公開

１）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・動物実験に関する検証結果報告書
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価、情報公開は適正に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず。

８．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

（１）　岐阜大学動物実験委員会の構成

国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程により１０名

①　学長が指名する理事

１名：理事（学術研究・情報担当）

②　動物実験等に関して優れた識見を有する者

４名：医学系研究科（細胞生物学）、医学部附属病院（循環器内科学）、応用生物科学部（獣医学）、応用生物科学部（動物生産科学）

③　実験動物に関して優れた識見を有する者

１名：研究推進・社会連携機構（分子生物学）

④　その他学識経験を有する者

４名：工学部（生体関連化学）、教育学部（英語学）、地域科学部（哲学、倫理学）、研究推進課長

（２）医学系研究科動物実験審査委員会の構成

岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則により　９名

（３）応用生物科学部動物実験審査委員会の構成

岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則により　５名

（４）平成３０年度実験動物の使用及び飼育状況報告書（別紙１）

（５）平成３０年度動物実験実施状況に関する調査書（別紙２）

実験動物の使用及び飼育状況に関する調査（平成30年度分）

別紙1

		教育学部		地域科学部		医学部		工学部			応用生物科学部			研究推進・社会連携機構			合計		
	動物種	使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日
哺乳類	マウス（遺伝子改変マウス以外）	0	0	0	0	0	0	44	2,060	6	6,795	77,451	212	696	71,706	196	7,535	151,217	414
	マウス（遺伝子改変）	0	0	0	0	0	0	48	7,224	20		133,866	367	33,948	5,023,290	13,762	33,996	5,164,380	14,149
	ラット（遺伝子改変ラット以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,812	13,121	36	252	58,523	160	2,064	71,644	196
	ラット（遺伝子改変）	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8,795	24	0	0	0	0	8,795	24
	ハムスター類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	302	1,825	5	48	384	1	350	2,209	6
	モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	98	0	48	2,864	8	160	2,962	8
	スンクス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155	0	0	35	10,923	30	190	10,923	30
	ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	14	0	106	9,010	25	108	9,024	25
	イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	544	1	0	1,095	3	12	1,639	4
	ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	480	1	0	0	0	0	480	1
	フェレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	7,498	21	4	26	0	113	7,524	21
	ヤギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10,205	28	0	0	0	1	10,205	28
	ヒツジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	846	2	0	0	0	0	846	2
	ウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2,080	6	0	0	0	2	2,080	6
	ウマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,249	3	0	0	0	1	1,249	3
	サル（マカク属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル（リスザル属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル（マーモセット属）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他のげっ歯目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の食肉目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	20	0	0
	その他の偶蹄目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の霊長目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上記以外の哺乳類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	20	0	0
鳥類	ニワトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,033	6,900	19	0	0	0	1,033	6,900	19
	ウズラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,310	94	0	0	0	0	34,310	94
	ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	36	0
	その他の鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
爬虫類	ヘビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	100	0	0
	トカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の爬虫類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	0	0	0	0	0	110	0	0
その他	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,400	0	0	0	0	0	20,400	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	92	9,284	25	30,988	299,318	820	35,137	5,177,821	14,186	66,217	5,486,423	15,031

※科学研究基盤センターの動物実験施設において実験・飼育を行っている動物については、そちらでカウントしている。
※※飼育数に関しては平成30年含む任意の1年間の延べ数
※※※「/1日」は1日あたりの飼育数

動物実験実施状況に関する調査（平成30年度分）

別紙2

部局	継続課題*	新規課題	終了課題**
教育学部・教育学研究科	1	1	0
地域科学部	0	0	0
医学部・医学系研究科、医学部附属病院	24	56	43
工学部・工学研究科	2	2	2
応用生物科学部	83	145	92
連合農学研究科	0	0	0
連合獣医学研究科	0	1	3
連合創薬医療情報研究科	4	10	7
教育推進・学生支援機構	0	0	0
研究推進・社会連携機構	4	10	7
流域圏科学研究センター	0	0	0
保健管理センター	0	0	0
グローカル推進本部	0	0	0
情報連携統括本部	0	0	0
大学本部	0	0	0
岐阜薬科大学	5	25	29
合計	123	250	183

*平成29年度以前に承認され平成30年度も継続した課題
**平成30年度中に終了報告書が提出された課題